

岐阜県経済の現状のポイント（平成 26 年 1 月分）

【景況感】

景気は堅調に回復している。

【製造業】生産、売上げは、輸送機械関連を中心に改善

- 製造業全体では、輸入原料の高騰によるコスト高が続いているが、輸送機械関連を中心に受注や生産が増加しており収益が改善する傾向が続いている。
- 生産用機械やはん用機械では、国内企業が設備投資を検討する動きがみえ始めた。

【地場産業】一部の業種を除いて厳しい状況が続いている

- 木工では住宅着工増により好調な状況が続いているが、他の業種については依然として消費意欲の減退や海外製品との競合、原材料費の値上がりなどにより厳しい状況が続いている。

【消費】衣料品・食料品は例年並みの動き。消費税増税の影響を懸念。

- 大型店では衣料品及び食料品は概ね例年並みの動きであった。
- 商店街ではアベノミクスの効果が感じられないとの声が多く、消費税増税後の消費縮小に危機感が感じられた。

【観光】インバウンドは台湾や香港、東南アジアが好調

- 施設によってバラつきはあるものの総じて前年をやや上回る模様。インバウンドは台湾や香港、東南アジアが好調で、旧正月の期間も多くの宿泊がある模様。

【雇用】業務量が増加し人手不足が発生している企業がある

- 生産量の増加により業務量が増えたため人手不足が発生している企業が出ている。派遣会社に対しては企業からの派遣要望が増加している。

【設備投資】設備投資意欲は増加しているものの実績は横ばい

- 設備投資の理由のうち「補修・更新」といったやむを得ない理由が減少し、「生産能力拡大・売上増」といった前向きな設備投資が増加した。設備投資意欲DIは、改善傾向。

【資金繰り】資金貸付実績に下げ止まりの兆し

- 企業の資金繰りは、横ばい状態が続いており、新規借入れ需要は低調だが、下げ止まりの兆しが感じられる。